

2021 ほくほく通信 新年号

所長あいさつ

皆様、新年あけましておめでとうございます。
川崎市北部地域療育センター所長の武井でございます。

このほくほく通信が皆様のお手元に届くのは二度目の緊急事態宣言発出中となりますので、2021年の夢や希望に包まれてというよりは不安の中におられる方も少なくないと思います。また、引き続き感染拡大防止対策にご協力いただきますこと、大変心苦しく思っております。

さて、今年度は予定していた通常の運営もさることながら、行事もこれまでの形で行うことがままならず、御利用の皆様には大変御迷惑をおかけしております。そのような状況下でしたが、昨秋実施したほくほくまつり『作品展』について御報告させていただきます。例年であれば、療育センターの子どもたちやその御家族、地域の皆さんお招きして行っているのですが、今年度は各クラスで絵本をテーマとした制作を行い作品展を実施しました。このコロナ禍のおりですと多くの皆さんにお越しいただくことはできませんでしたが、力強い作品の数々は私たち職員にもあたたかい何かを感じさせてくれるものでした。この紙面でご紹介できるのは、ほんの一部ですが、あたたかい何かのお裾分けを皆さんにお届けできればと思います。

コロナ禍の不安の中にもありますが、センター職員一丸となって子どもたちが夢と希望に包まれるような2021年をつくっていきたくと思います。

本年もよろしくお祈り申し上げます。

ぐるーぷ・もこもこって?

「ぐるーぷ・もこもこ」は布の絵本やおもちゃを手作りしているボランティアグループで、1979年から活動をしています。

「おもちゃ図書館 もこもこプレイルーム」としての活動は1993年から「訓練ではなく、手作りおもちゃで遊ぶことにより生き生きと楽しい時を過ごせますように」との思いから、療育センターの和室を使いプレイルームを定期的に開催。人形劇の上演も行っています。

フェルトや木綿の生地で作られた作品は、子どもが触っても安全なように配慮され、柔らかな感触と鮮やかな色あいのおもちゃで遊ぶことを皆、楽しみにしています。



まちにまった お楽しみ会

通園のクリスマスの催しは「お楽しみ会」として毎年開催されています。サンタさんが子どもたちに会う為、大きなプレゼント袋を抱えて各クラスに訪れました。サンタさんに会えた子どもたち、驚きのあまり固まってしまう子、緊張しながらも笑顔でプレゼントを受け取る子、様々な姿を見ることが出来ました。
サンタさん、来年も来てくれるかな?

作品展 開催しました! ~ テーマ「絵本」~

今回は通園部の作品を写真でご紹介します。